

第3期中期目標策定の背景

- 公立大学法人富山県立大学は、**工学、情報工学及び看護の分野に特化し、時代や社会のニーズに応じて高度専門人材の育成を担う公立大学**である。
- 平成2年の開学以来、地域及び産業の振興に大きな役割を果たしてきており、平成27年の公立大学法人化以降は、機動性を活かしながら、教育、研究、地域貢献及び大学運営の充実・強化に取り組んできた。
- 一方、人口減少・少子高齢化の進展、若者の県外流出、生成 A I をはじめとする技術革新やデジタル化・D X の加速、グローバル化の進展、多様な価値観の広がりなど、**大学を取り巻く環境は大きく変化**している。
- また、予測困難な時代（V U C A）の到来に伴い、地域課題が複雑化・多様化する中で、**リカレント教育やリスキリングへの社会的な重要**も高まっている。
- こうした中、**県立大学には、地域社会の持続的な発展を支える人材の育成、社会課題の解決に資する研究の推進、地域や産業界との連携強化などを通じて、その役割を一層果たすことが求められる。**

第3期中期目標の基本的な考え方

公立大学法人富山県立大学が、**機動性、透明性の高い大学運営**のもと、**教育、研究及び地域貢献活動をさらに充実・強化し、県民のウェルビーイングの向上と地域社会の持続的発展に貢献する魅力ある大学づくりを推進**できるよう、第3期中期目標を定める。

3つの基本目標

①学生を大きく伸ばす教育力の高い大学

学生の課題解決力を身につける実践重視の教育を推進し、地域社会はもとより国際社会で活躍できる有為な人材を育成する。

②未来を志向した高度な研究を推進する大学

基盤的・先端的な研究を推進し、県内産業、保健及び医療の発展はもとより国内と世界の学術の向上に貢献する。

③広く開かれた、地域社会に貢献する大学

富山県における知の拠点として、大学間連携のもと、優れた教育研究成果の還元と人材の育成・供給を通じて、地域社会の発展に貢献する。

中期目標の期間

令和9年4月1日～令和15年3月31日（6年間）

第3期に重点的に進める主な取り組み

1 教 育

- A I、G X、I o E等の先端技術に対応した教育の推進
- 専門看護師、助産師、保健師など、地域の保健・医療・福祉を支える高度な看護人材の育成
- 高大連携を強化し、高校生の理工系分野や看護分野への関心を高める取組みを推進
- アントレプレナーシップ（起業家精神）を育み、大学発スタートアップ創出につながる実践的な教育の推進
- グローバルな視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成と受入体制の充実

2 研 究

- A I、G X、I o Eなど県内外のものづくり企業における喫緊の課題に対応する分野への研究資源の投入
- 産業、保健及び医療の発展に資する研究の推進
- 地域課題解決や社会実装に向けた研究の展開
- 入学定員、教員配置を含む教育研究組織や教育研究活動の検証、学部間の連携や学外との連携の推進
- 研究の質の向上を図るための研究活動の審査・評価の適切な実施、評価制度の改善

3 地域貢献

- オープンイノベーションの推進
- 社会人の学び直し（リカレント教育・リスキリング）など、学ぶ人のニーズにあった多様な学習の提供
- 大学間連携を強化し、地域産業を支える人材の育成・供給を推進
- 地域が直面する課題に対する社会実装を見据えた全学的取組みの実施

4 そ の 他

- 柔軟で多様な人事制度・教員評価制度の適切な運用
- 事務局D Xの推進による生産性の高い事務局運営
- ネーミングライツ等の多様な財源確保
- 自己点検・評価の適切な実施、戦略的かつ効果的な広報
- 学内外の専門的知見の活用など情報セキュリティ体制の強化
- コンプライアンスの推進、多様性の尊重、持続可能な大学運営の推進



射水キャンパス・情報工学研究棟

第3期中期目標で目指す姿

第2期中期目標期間に整備した**教育研究基盤を活用し、教育・研究・地域貢献の活動の「成果」を、富山県の持続的発展と県民のウェルビーイング向上へ還元**する。